

総合的な学習の時間

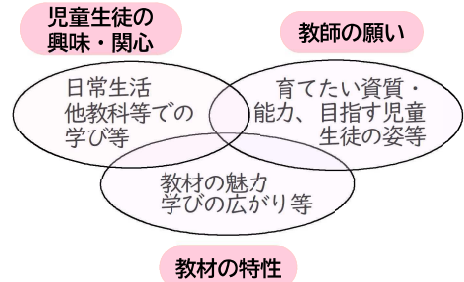
探究的な見方・考え方を働かせながら、探究的な学習を進める授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- ① 単元を構想する際は、「児童生徒の興味・関心」「教師の願い」「教材の特性」の三つの視点から、十分に考えを巡らせ、中心となる活動を思い描く。
- ② 探究的な学習の過程では、何のために学ぶのか、どのようなことを学ぶのかということを見聞が自身で考え、異なる多様な他者と協働して主体的に課題を解決しようとする学習活動が重視される。課題解決的に繰り返すことで、探究的な学習の質を高めていくことができるようにする。
「①課題の設定」では、児童生徒の発達や興味・関心を把握すること、ICT等を活用して対象との関わり方を工夫すること、これまでの自分の考えとの「ずれ」や「隔たり」、対象への「憧れ」や「可能性」を感じさせることについて配慮する。
- ③ 総合的な学習の時間で目指す児童生徒の姿は、各学校において児童生徒の実態を踏まえて設定する。また、見通しをもちながら評価を計画的に行うために、誰がどの場面で、どのように評価するかを明確にする。さらに、児童生徒の学習状況の評価する際は、妥当性を高めるためにも多様な評価方法により過程の評価を意識して行う。

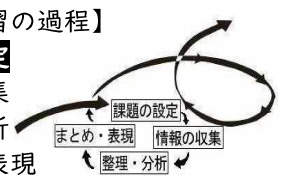
【単元の構想】



【探究的な学習の過程】

①課題の設定

- ②情報の収集
- ③整理・分析
- ④まとめ・表現



資質・能力の育成に向け、児童一人一人が探究的な課題を設定する学習の例

小学校第3学年

単元名「地いきのみりょくを伝えよう」

◇単元の目標

探究的な学習を通して、地域の魅力や価値を理解するとともに、自分が考えた地域のよさを身近な人に伝えることができるようにする。

◇単元の流れ

〔小単元1〕地域の魅力を調べよう

◇指導計画（全12時間）

〔第1～4時〕①課題の設定

他の地域にはない、自分たちの地域の魅力について考え、個人の課題を決める。

〔第5・6時〕②情報の収集

自分で選択した方法で調べる。

〔第7～9時〕③整理・分析

収集した情報を整理し、分析する。

〔第10～12時〕④まとめ・表現

整理・分析したことを基に、地域の魅力についてグループで話し合い、伝えたい地域のよさをまとめる。

〔小単元2〕地域の魅力と自分とのつながりを調べよう

〔小単元3〕地域のよさを発信しよう

◇単元の評価規準（一部）

地域の魅力や価値に関する情報を理解するとともに、自分が伝えたい地域のよさに気付いている。

【知識・技能】（発言内容、行動観察、学習シート）

<参考>「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」

令和3年3月 (小学校編) 令和4年3月 (中学校編)

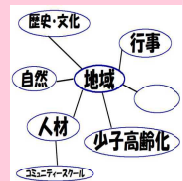
思考ツールの事例や多様な評価の方法等が掲載されています。

◇単元構想のポイント等

小学校第3学年の場合は、生活科等の低学年における学習経験について把握し、生活科等の学習活動とこれから行う総合的な学習の時間の学習活動の関連性について、あらかじめ確認しておくことが大切です。



単元構想の際には、教師自身が、ウェビング等の思考ツールを活用し、教材の特性や児童生徒の興味・関心、疑問等を整理したり、つながりを考えたりすることもある。有効です。



◇学習活動（1～4／12）

〔第1時〕

地域の魅力や価値について、どのような方法で調べればよいか考える。

T：2年生の生活科で行ったまち探検の学習も思い出しながら地域のよいところを考えてみましょう。

S1：先生や上級生なら何か知っていると思う。

S2：インタビューやアンケートをしてみたいです。

T：では、1人1台端末のWEBアンケート機能を通して、情報を集めてみるのはどうでしょうか。

〔第2時〕

先生や家族等へインタビューやアンケート調査を行う。



〔第3・4時〕

調査結果を基に、自分の調べたいことを整理し個人の課題を設定する。

T：グループで調査結果を紹介しましょう。

S1：〇〇という行事を大切にしていることが分かりました。

S2：☆☆が特産品として人気があるそうです。

T：調査結果の紹介で得た情報から、自分の身近な人に知ってもらいたいと思うことや、もっと調べてみたいことを選び、自分の課題を決めましょう。

児童生徒の既習事項や生活経験などを把握した上で、既存のツールやICT支援員の協力等により、1人1台端末の機能を活用する機会を設定し、探究的な学習を進めていくことは、児童生徒の主体的な活動につながります。